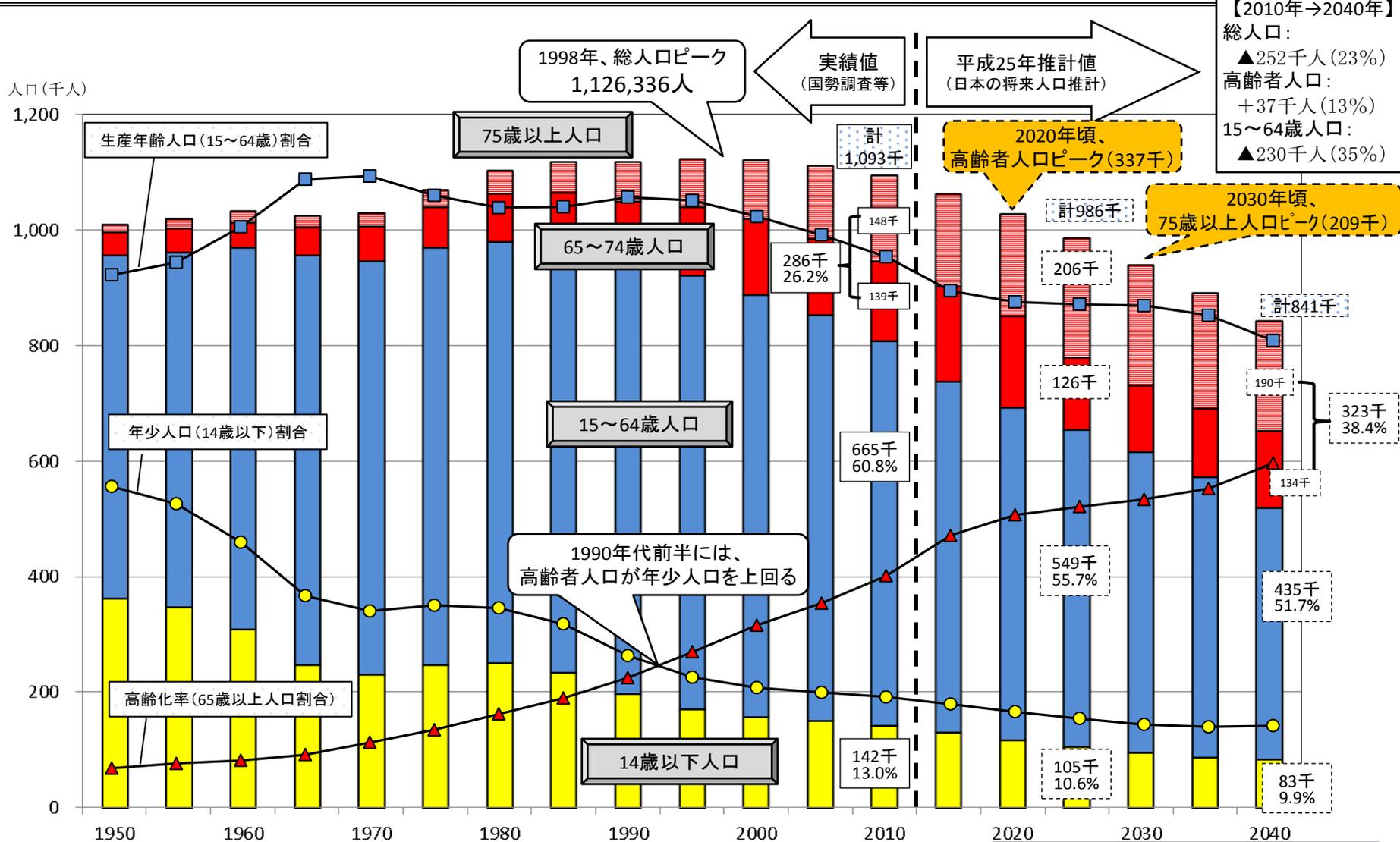


富山県 人口減少及び少子高齢化の進行

- 富山県の人口は、既に1998(平成10)年にピークを迎え、減少局面に入っている(高齢化は、全国より5年程度早いペース)。
- 2020(平成32)年頃には、高齢者人口がピークを迎えるが、人口減少に伴い、高齢化率は上昇し続ける見込み。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は2030年頃にピークを迎える見込み。

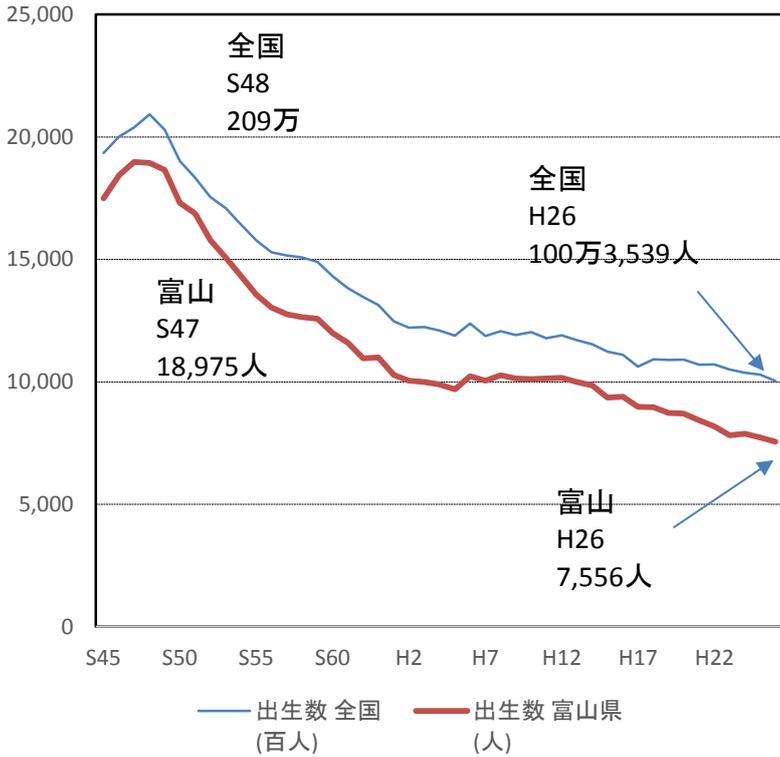


【資料】実績値: 国立社会保障・人口問題研究所公表「人口統計資料集(2013年版)」より抜粋。総務省統計局「国勢調査報告」による推計値: 国立社会保障・人口問題研究所H25.3公表「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」より抜粋。

【参考】高齢者人口ピーク: 2040年(3,868万人)
 全国 75歳以上人口ピーク: 2055年(2,401万人)

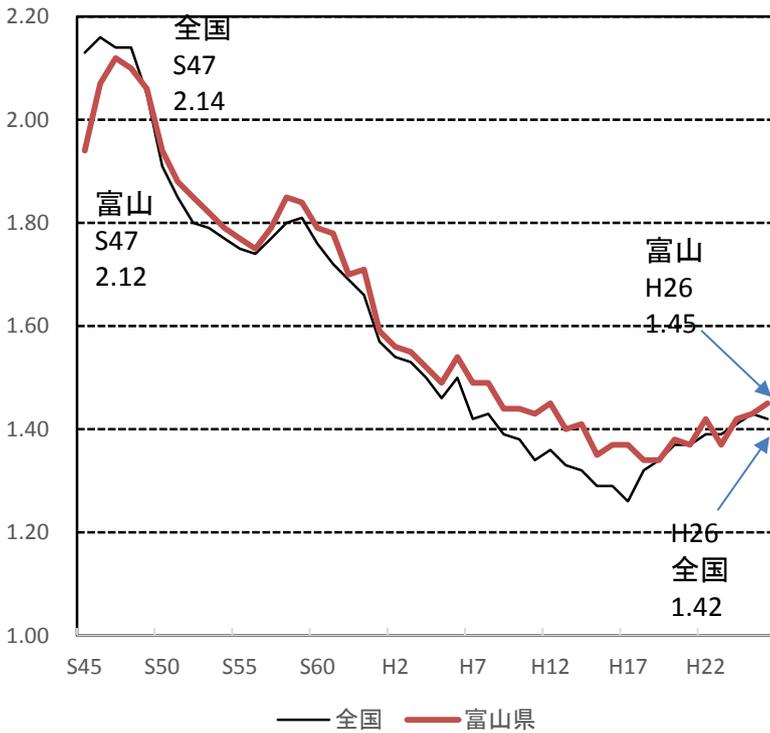
出生数及び合計特殊出生率の推移(確定値)

◎出生数の推移(全国・富山)



資料:人口動態統計(厚生労働省)

◎合計特殊出生率の推移



資料:人口動態統計(厚生労働省)

| | 出生数 | | 合計特殊出生率 | | |
|-----|---------|---------|---------|------|----|
| | 全国 (百人) | 富山県 (人) | 全国 | 富山県 | 順位 |
| S30 | 17,307 | 18,435 | 2.37 | 2.19 | |
| S35 | 16,060 | 16,126 | 2.00 | 1.91 | 37 |
| S40 | 18,237 | 16,342 | 2.14 | 1.94 | 46 |
| S45 | 19,342 | 17,493 | 2.13 | 1.94 | 44 |
| S46 | 20,010 | 18,434 | 2.16 | 2.07 | |
| S47 | 20,387 | 18,975 | 2.14 | 2.12 | |
| S48 | 20,920 | 18,941 | 2.14 | 2.10 | |
| S49 | 20,300 | 18,650 | 2.05 | 2.06 | |
| S50 | 19,014 | 17,305 | 1.91 | 1.94 | 35 |
| S51 | 18,326 | 16,873 | 1.85 | 1.88 | |
| S52 | 17,551 | 15,790 | 1.80 | 1.85 | |
| S53 | 17,086 | 15,066 | 1.79 | 1.82 | |
| S54 | 16,426 | 14,330 | 1.77 | 1.79 | |
| S55 | 15,769 | 13,555 | 1.75 | 1.77 | 34 |
| S56 | 15,295 | 13,037 | 1.74 | 1.75 | |
| S57 | 15,154 | 12,761 | 1.77 | 1.79 | |
| S58 | 15,087 | 12,644 | 1.80 | 1.85 | |
| S59 | 14,898 | 12,582 | 1.81 | 1.84 | |
| S60 | 14,316 | 11,986 | 1.76 | 1.79 | 32 |
| S61 | 13,829 | 11,605 | 1.72 | 1.78 | |
| S62 | 13,467 | 10,960 | 1.69 | 1.70 | |
| S63 | 13,140 | 11,005 | 1.66 | 1.71 | |
| S64 | 12,468 | 10,286 | 1.57 | 1.59 | |
| H2 | 12,216 | 10,050 | 1.54 | 1.56 | 33 |
| H3 | 12,232 | 9,996 | 1.53 | 1.55 | 35 |
| H4 | 12,090 | 9,887 | 1.50 | 1.52 | 34 |
| H5 | 11,883 | 9,701 | 1.46 | 1.49 | 32 |
| H6 | 12,383 | 10,227 | 1.50 | 1.54 | 31 |
| H7 | 11,871 | 10,049 | 1.42 | 1.49 | 31 |
| H8 | 12,066 | 10,272 | 1.43 | 1.49 | 27 |
| H9 | 11,917 | 10,139 | 1.39 | 1.44 | 28 |
| H10 | 12,031 | 10,117 | 1.38 | 1.44 | 30 |
| H11 | 11,777 | 10,139 | 1.34 | 1.43 | 22 |
| H12 | 11,905 | 10,170 | 1.36 | 1.45 | 30 |
| H13 | 11,707 | 9,994 | 1.33 | 1.40 | 28 |
| H14 | 11,539 | 9,854 | 1.32 | 1.41 | 21 |
| H15 | 11,236 | 9,362 | 1.29 | 1.35 | 28 |
| H16 | 11,107 | 9,396 | 1.29 | 1.37 | 18 |
| H17 | 10,626 | 8,973 | 1.26 | 1.37 | 23 |
| H18 | 10,927 | 8,965 | 1.32 | 1.34 | 32 |
| H19 | 10,898 | 8,728 | 1.34 | 1.34 | 33 |
| H20 | 10,912 | 8,709 | 1.37 | 1.38 | 28 |
| H21 | 10,700 | 8,426 | 1.37 | 1.37 | 31 |
| H22 | 10,713 | 8,188 | 1.39 | 1.42 | 34 |
| H23 | 10,508 | 7,823 | 1.39 | 1.37 | 37 |
| H24 | 10,372 | 7,880 | 1.41 | 1.42 | 32 |
| H25 | 10,298 | 7,722 | 1.43 | 1.43 | 33 |
| H26 | 10,035 | 7,556 | 1.42 | 1.45 | 26 |

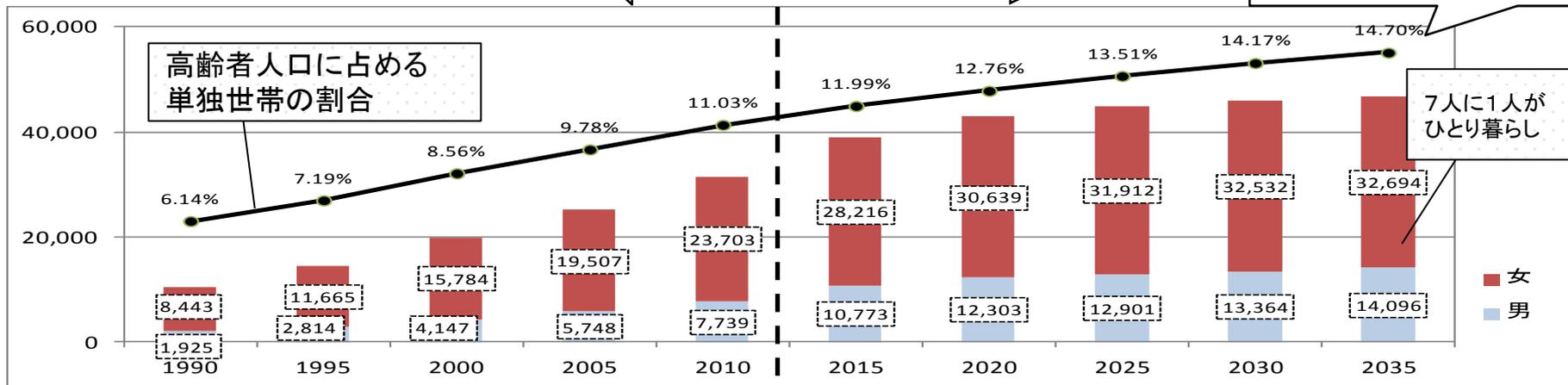
富山県における高齢単独世帯の状況

単独世帯

実績値
(国勢調査等)

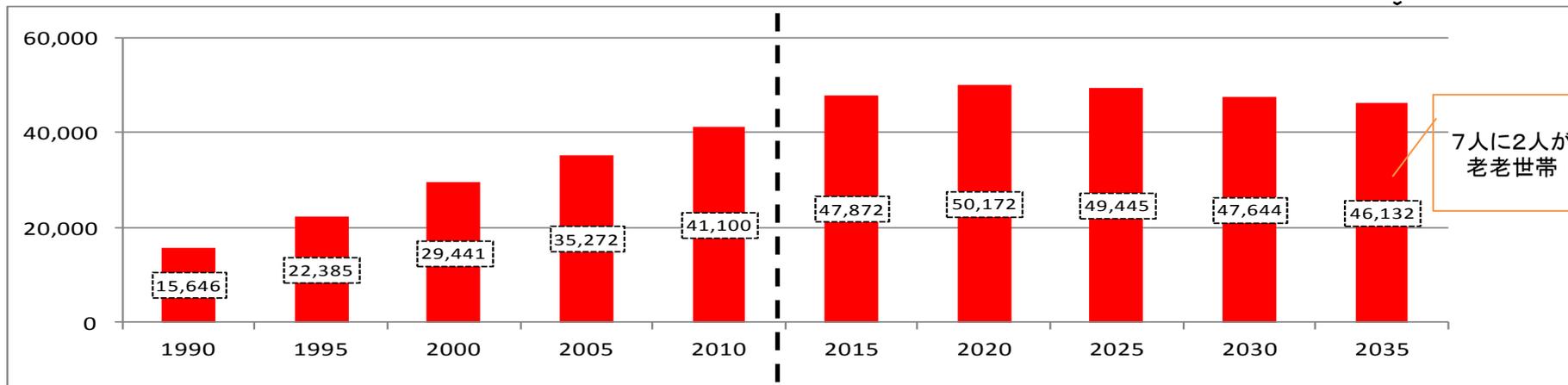
平成25年推計値
(日本の世帯数の将来推計)

【2010年→2035年】
 単身高齢者計: +15,348(48.8%)
 うち単身女性: + 8,991(37.9%)
 単身男性: + 6,357(82.1%)



夫婦のみ世帯

単独世帯数が夫婦のみ世帯数を逆転



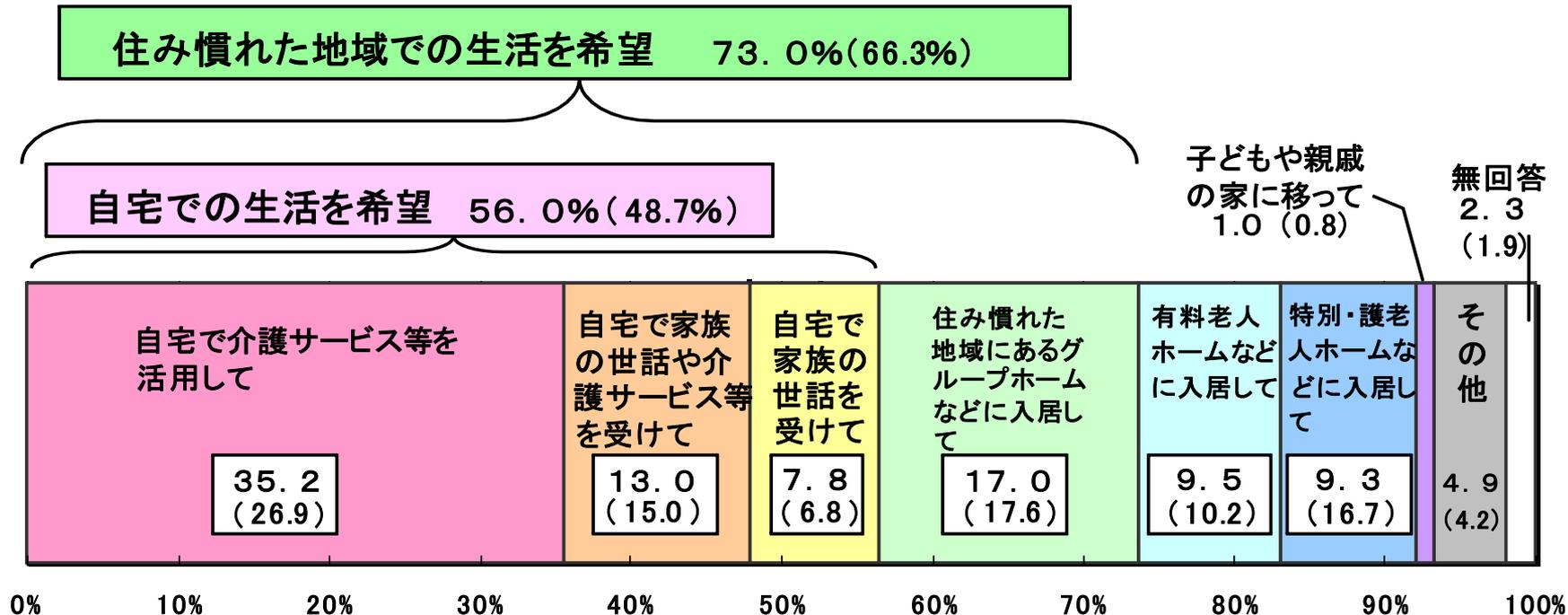
【資料】実績値:総務省統計局「国勢調査報告」による。

推計値:国立社会保障・人口問題研究所H26.4公表「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」より抜粋。

県民の約7割は住み慣れた自宅や地域で生活し続けたい

平成27年度県政世論調査

あなたは介護が必要になった場合 どこで生活することを望みますか？



平成27年度県政世論調査より(回答数1,045人)
※かっこ書きは平成25年度の県政世論調査結果

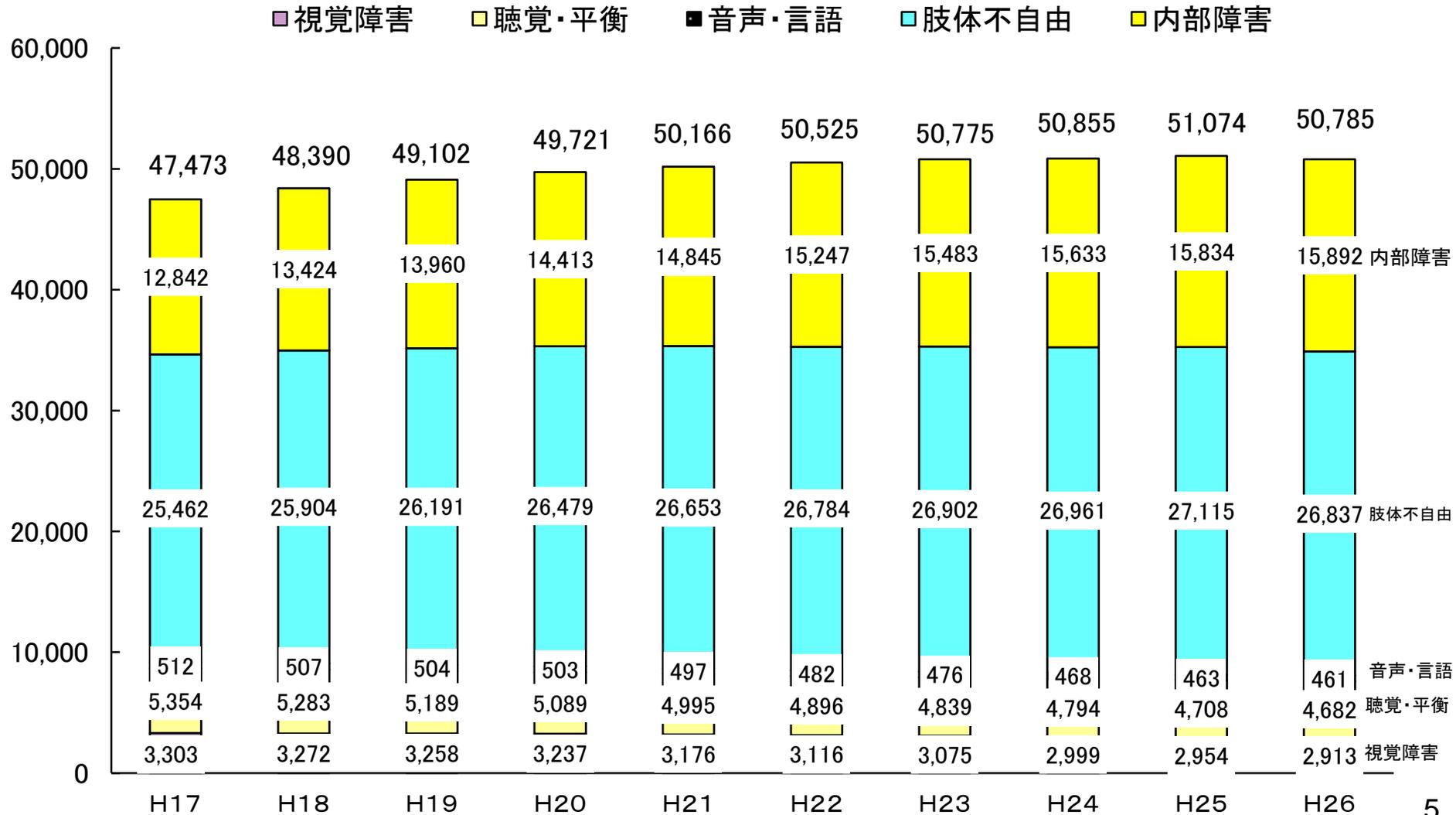
身体障害者の状況

～身体障害者手帳の保持者数を指標に～

各年度3月31日現在

○肢体不自由＋内部障害＝84% ○重度・中度が88%を占める ○65歳以上が76%を占める

人数

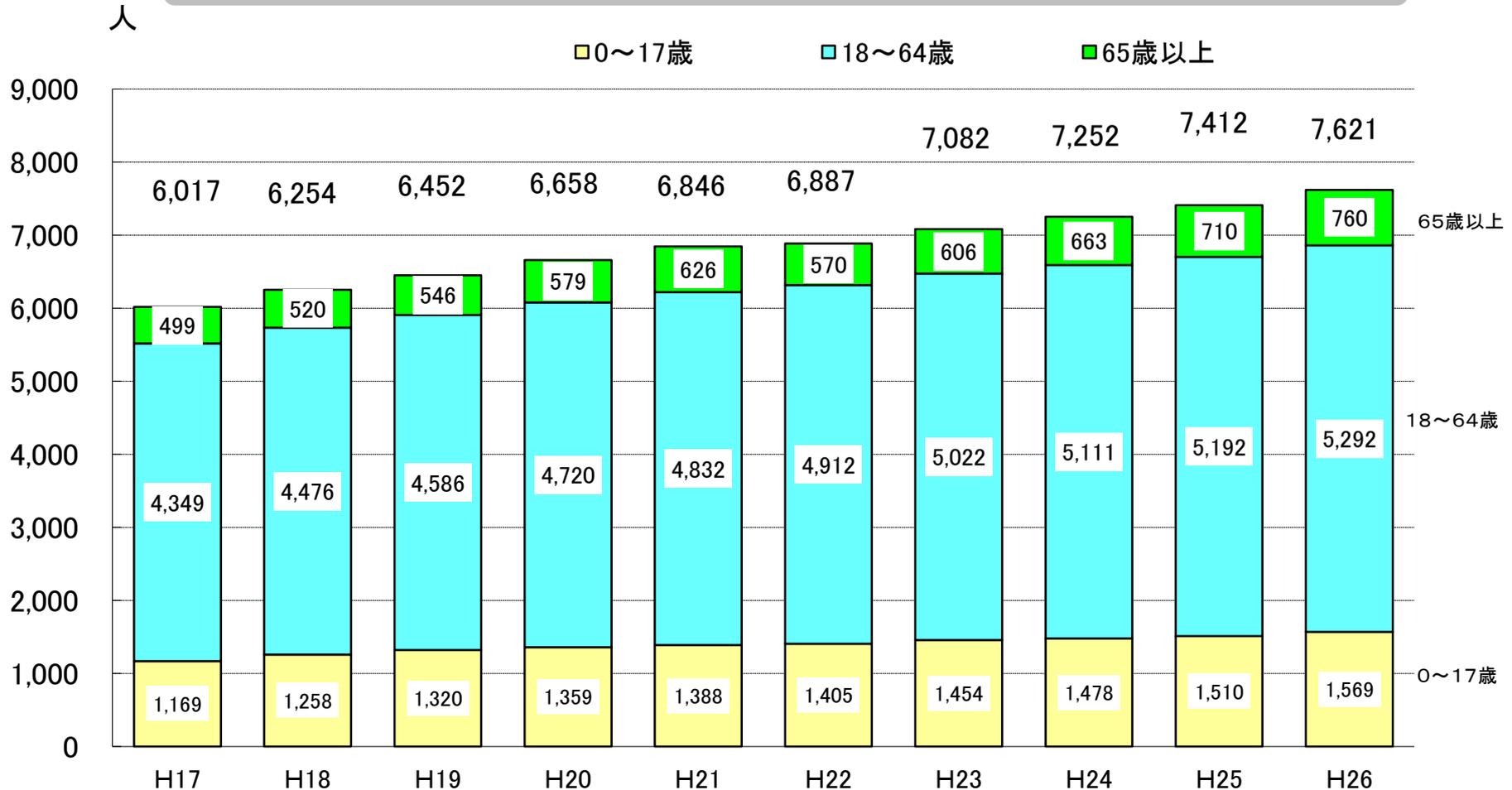


知的障害者の状況

～療育手帳の保持者数を指標に～

各年度3月31日現

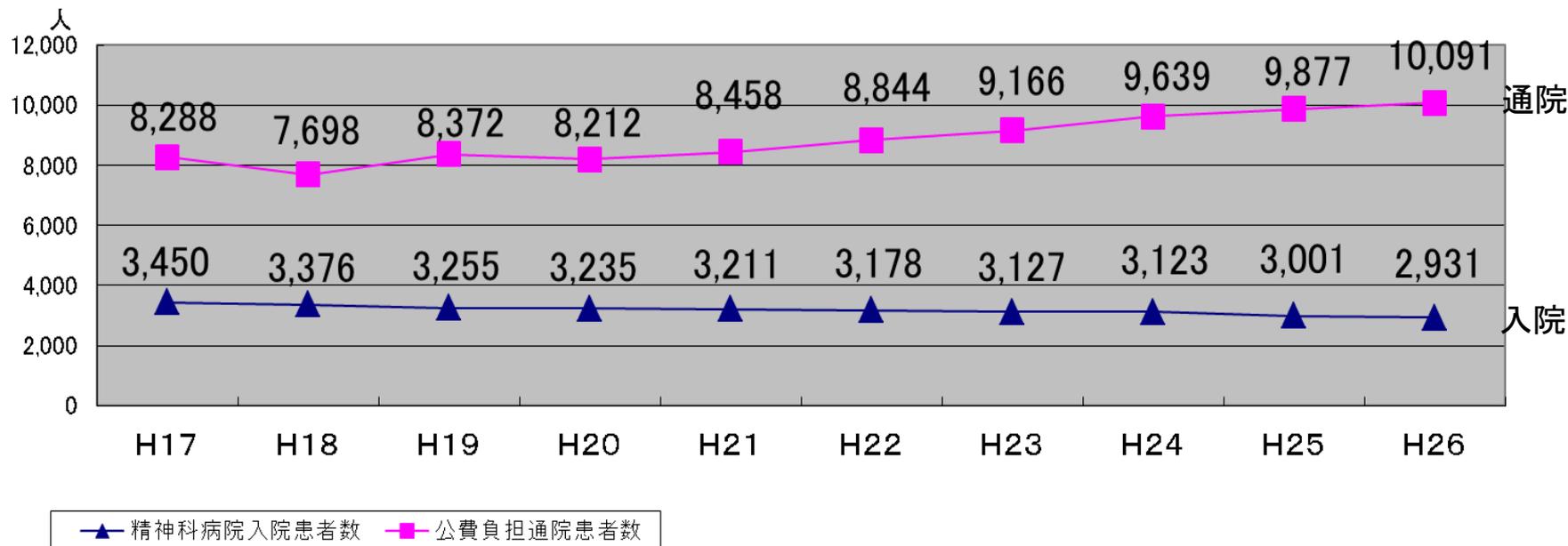
○H17年度から1,604人の増 ○中度・軽度で63%



精神障害者の状況

○入院患者：H17年度から519人減 ○通院患者：H17年度から1,803人増

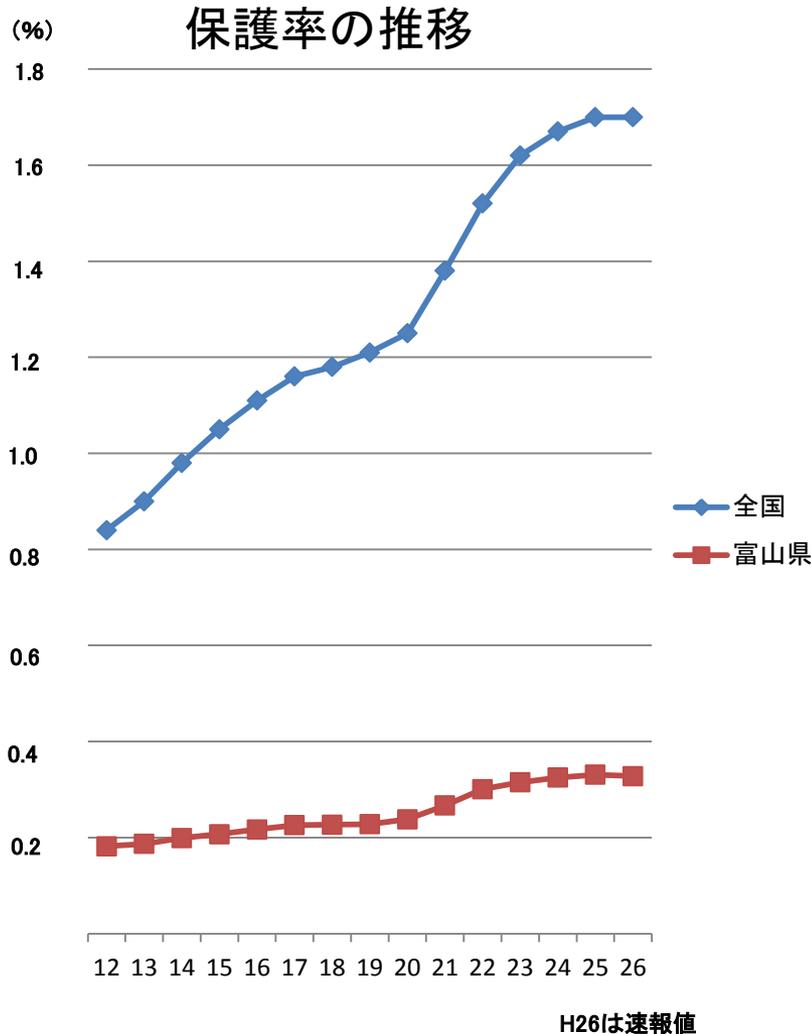
精神科病院入院患者数・公費負担通院患者数の推移（各年度6月30日現在）



精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移（各年度3月31日現在）

| 区分 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 級 | 390 | 397 | 359 | 366 | 386 | 394 | 443 | 434 | 447 | 457 |
| 2 級 | 1,559 | 1,645 | 1,834 | 2,163 | 2,422 | 2,717 | 3,028 | 3,215 | 3,407 | 3,635 |
| 3 級 | 516 | 519 | 528 | 573 | 623 | 672 | 750 | 879 | 1,034 | 1,200 |
| 計 | 2,465 | 2,561 | 2,721 | 3,102 | 3,431 | 3,783 | 4,221 | 4,528 | 4,888 | 5,292 |

生活保護率の推移



【全国の状況】

平成20年10月頃の世界金融危機以降、急増しており、平成26年に入ってから、ほぼ横ばいで推移している。

<H27. 11 (速報値) >

- ・ 被保護人員 2,164,375人
- ・ 被保護世帯 1,632,220世帯
- ・ 保護率 1.71%

【富山県の状況】

平成11年度に過去最低の0.18% (全国0.79%) となったが、景気低迷の長期化等により、平成12年度には20年ぶりに増加に転じ、現在まで引き続き増加している。特に、平成20年秋以降の雇用経済情勢の悪化により、平成22年度の保護率は0.30%を超え、平成24年度以降ほぼ横ばいで推移している。本県の保護率は、平成7年度から全国最下位で推移している。

<H27. 11 (速報値) >

- ・ 被保護人員 3,517人
- ・ 被保護世帯 3,060世帯
- ・ 保護率 0.33%

福祉を取り巻く社会環境の変化について

■各福祉分野における主な制度改正

1 地域福祉

高齢化の進展に加え、地域経済や雇用情勢の低迷により、生活が不安定になり孤立しやすい人々や、生活に困窮する人々が増加している。保護や支援を必要とする人や家庭が、安心して生活を取り戻していくための社会的援助の仕組みづくりに取り組む。

○ 生活困窮者自立支援法（平成27年4月1日施行）

- ・自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給
- ・就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計相談支援事業等の実施
- ・都道府県による就労訓練事業（中間的就労）の認定

2 高齢者福祉

医療介護総合確保推進法の成立により介護保険法が改正され、地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに費用負担の公平化を図ることとされた。

○ 介護保険法改正法（平成27年4月1日施行）

- ・在宅医療・介護連携の推進などの地域支援事業の充実とあわせ、予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護を平成30年度までに地域支援事業に移行し、サービスの種類や担い手を多様化
- ・特別養護老人ホームについて、在宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える機能に重点化
- ・低所得者の保険料軽減を拡充
- ・一定以上の所得のある利用者の自己負担を2割へ引上げ
- ・低所得の施設利用者の食費・居住費を補填する「補足給付」の要件に資産などを追加

3 児童家庭福祉

保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する。

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境の整備を推進する。

○ 子ども・子育て関連3法（平成27年4月1日施行）

- ・認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた共通の「施設型給付」や小規模保育等への「地域型給付」の創設
- ・認定子ども園制度の改善（幼保連携型認定子ども園について、認可・指導権限の一本化等）
- ・地域の実情に応じた子ども・子育て支援（地域子育て支援拠点、放課後児童クラブなど）の充実

○ 子どもの貧困対策の推進に関する法律（平成26年1月27日施行）

- ・国の大綱や県子どもの貧困対策計画に基づき、子どもの教育や生活、親の就労や経済面の支援施策を推進
- ・「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」（平成27年12月国決定）において、ひとり親家庭に対する支援と児童虐待防止対策の強化に向けた施策及び法改正（児童扶養手当法、児童福祉法等）を提示

4 障害者福祉

障害者差別解消法及び県条例の施行により、障害を理由とした「差別的取扱いの禁止」及び「合理的配慮の不提供の禁止」について具体化し、必要な施策を実施する。

○ 障害者差別解消法（平成28年4月1日施行）

○ 障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例（平成28年4月1日施行）

- ・相談体制、紛争解決体制の整備
- ・富山県障害者差別解消ガイドライン（仮称）の策定